
スマブラX ~14人の物語り~

ユイ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラX ～14人の物語り～

【Nコード】

N2373BA

【作者名】

ユイ

【あらすじ】

亜空軍の事件が過ぎてスマブラXのメンバーは解散して、自分の世界に帰った。

しかし、14人のメンバーは再び集まった。

スマブラメンバー14人を集めたマスターハンドは何を考えているのか!?

ps・時々クレイジーハンドが登場！

第1話 プロローグだよ！ bYネス（前書き）

初めましてユイです！

やばいほどにネスが好きな作者です！！

初投稿なので可笑しいですが宜しくです

第1話 プロローグだよ！ byネス

亜空軍事件が過ぎて1週間。

皆はマスターハンドの力で一度、自分の世界に戻った。

ボクは『テレポート』を使えるからそれで帰った。

でも帰った数日後に、ボクを含む14人の人たちが集合した。

なぜなら、マスターハンドに招待されたからなんだ。

招待されても来なかった人は、

『興味がない』・『忙しい』・『やるべき事がある』・…などの理由で来なかった。

招待されてきた人は、

【マリオさん・ルイーダさん・ピーチさん・リンクさん・ゼルダさん・ガノンドロフさん・アイクさん・マルスさん・メタナイトさん・カービィ・ピット・トウインリンク・リュカ・・・そしてボク、ネス。】

この人数だけど、結構楽しいんだ。

第1話 プロローグだよ！ byネス（後書き）

前書きにも書きましたが異常なネス好きなのでネスの台詞が多くなると思います！

私もなるべく頑張ります！！

感想なども待っております

第2話

馬鹿共はほっとくぞ。

byアイク（前書き）

タイトルのキャラの台詞は本文中にあります！

短いですが、すみません。

第2話

馬鹿共はほっとくぞ。

byアイク

????「ネスさ〜ん！」

ネス「あ、この声って・・・リュカ！」

金髪で寝癖の目立つネスと同じPSI^{サイ}能力者。

リュカ「朝ご飯だから呼びに来ました。」

ネス「（朝ご飯か…。今日の当番って誰だっけ？）」

リュカ「今日の当番はトゥーンとガノンさんですよ。」

ネス「あれ？もしかして、人の心を読み取れるようになったの!？」

リュカ「はい！ネスさんの特訓のおかげです！」

リュカは今まで動物の心しか読み取れなかったのだが、ネスのとの特訓のおかげで、人の心を読み取れるようになったらしい。

ネス「あ、超うざいおっさん以外には乱用したらダメだよ」（黒笑）

リュカ「はい…。（さすがにそんな腹黒いのは見習えない…。）」

さっきの可愛いネスは何処へ!？」

ネス「さ、朝食に行こっ！」

リュカ「はい！」

リュカは庭にいたネスを呼び、皆が居る屋敷に戻った。

屋敷、キッチン

トウーン「ちょっとガノン！塩と砂糖は違つよ！」

ガノン「そんなもん知るか！砂糖も塩もどつちでも良い！」

トウーン「デザートなんだから塩じゃなくて砂糖！」

ガノン「もう塩でかけたぞ。」

トウーン「……。」

トウーンとガノンはデザートにかける調味料でもめていた。

てか、デザートに塩は数少ないぞ。

ネス「おはようございます！（というか一番最初に起きたのはボクなんだよね……。）」

ネスはメンバーの中で最初に起きたのが、誰も居ないため、庭に居ただ。

マリオ「おはようネス！」

ネス「おはようございます！ところで何でもめてんの？」

カービィ「ネスティーおはよう！えっとねデザートにかける調味料らしいよ。」

ネス「馬鹿みたい。」

カービィとネスは2人で呆れていた。

マルス「バカ2人はほつといて、僕達はデザート以外の朝食を食べましょう。」

ピット「マルス、知ってる？『ばか』を漢字で書けない人って本当のバカなんだよ！」

ピットが調子に乗ってマルスに言うともマルスが怒り始める。

マルス「ピット君。それは王子である僕に言っているのかな？」

ピット「あたりまえでしょ！」

マルス「この一国の王子がバカな訳がない！」

次はピットとマルスの言い争いが始まった。

いい加減にしるよ、お前ら。

アイク「馬鹿共はほつとくぞ。」

「同」は「い！」

第2話

馬鹿共はほっとくぞ。

byアイク（後書き）

ガノンとかよくわかりませんね。

感想とか、待ってます

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2373ba/>

スマブラX ~14人の物語り~

2012年1月6日10時51分発行